

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立広南小学校  
(広南中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+4.8	+3.5
令和4年度	+13.4	+15.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 72% 全国 67.2% 県 69%</p>	重点課題	◎◇原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。 【情報の扱いに関する事項】(平均正答率 52.6%)
	改善の方策	◎◇説明的文章において、語句や文に着目し、段落の内容を的確にとらえたり、筆者の考えと事例、原因と結果など、段落相互の関係を押さえたりして、内容の大体をとらえることができるようにする。
	検証	◎全国学力(設問1一)(第5・6学年, 1月)目標6.5%→結果8.7% ◎◇全国学力(設問1一)の類似問題(第1~6学年, 1月) 目標6.5%→結果7.8%(2月)
<p><b>算数</b></p> <p>本校 66% 全国 64% 県 62.5%</p>	重点課題	◎高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。 【図形】(平均正答率 10.5%) ◎◇()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題がある。【数と計算】(平均正答率 52.6%)
	改善の方策	◎「図形」の学習において、図形の定義をしっかり押さえたり、必要な情報を主体的に見いだしたりして考えることができるようにする。 ◎◇「数と計算」の学習において、式の意味を言葉で説明させるなどして、考えを言葉、図、式を用いて理解できるようにする。
	検証	◎全国学力(設問2四)(第5・6学年, 1月)目標6.0%→結果7.9% ◎◇全国学力(設問3一)の類似問題(第1~6学年, 1月) 目標7.0%→結果7.9%

【来年度に向けて】引き続き、ドリルタイム等を使って文学的文章や説明的文章の読み取りを行い、大事な言葉や文に注目して読む力をつける。算数では、図形の定義を押さえ、繰り返し図形の問題に取り組む。また、授業では式の意味を言葉で説明するなど、自分の考えを書いて表現することで書くことに慣れさせる。学力が十分でない児童もおり、キュービナの活用や個に応じた指導も行っていく。